

2023年東日本恵迪寮同窓会大寮歌祭報告

2023（令和5）年10月29日
東日本恵迪寮同窓会 幹事長 竹下忠彦

2023年東日本恵迪寮同窓会・大寮歌祭 in 新宿を2023年10月28日（土）以下の通り実施しました。

1. 会場

今回利用した会場は、JR新宿駅西口の「Y's エステック情報ビル店」。JR新宿駅から徒歩5~6分の便利な場所にあります。50名規模の会場を借りました。

2. 参加者

参加者は以下の通りです。

長谷川久（32）尾見仁一（38）常野勝彦（38）長谷川和雄（42）本田彰（43）
猪股哲美（43）坂倉雅夫（44）木村成二（46）鈴木望（46）松岡繁幸（48）
若目田篤（51）小林次郎（51）朝倉仁樹（52）岡地勇治（52）富田博（53）
森永憲彦（53）岩田 昇（53）竹下忠彦（53）橋本浩典（54）飯島康司（55）
宇治弘晃（56）山田安秀（57）古川光有（58）松岡涉（H16）松尾駿介（H19）
坂下節子（会友）若目田誠子（会友）

以上27名

3. スケジュール

<第一部> 開識社（12:00~13:00）

講師：山田 安秀 氏（S57入寮・S63大学院環境科学研究科修了）

演題：『坂道ウォーキング＆ランのすすめ～10の効用と楽しみ～』

要旨：通商産業省在職中、2004年～2007年バンコク駐在。駐在中に弱った体力の回復のため、帰任後にジョギングを開始。その後2011年3月に東日本大震災発生、同年秋に開催された東日本大震災の支援キャンペーンの10kmマラソンに初出走して以降、ランニングに目覚め、53歳からフルマラソンにも挑戦。その練習も兼ねて、東京都の名のある坂道を調べ実走し、その過程をFacebookに投稿し続けたところ、雑誌『ランナーズ』やNHK『ランスマ』に採り上げられた。10年以上かけて、東京都の名のある坂道を全走破（1588坂）。現在は全国の坂道に拡大中。坂道ランニングのなかで、得られたことや感じたことなど、10の効用と楽しみの紹介。

山田氏のお話は、ご自身のキャリアの紹介から始まり、趣味のランニングから坂道の観察に関心が広がり、それが現在の仕事や生活にも生きていると蘊蓄のある話しであった。
都内の1588の全坂道を走破した実績をひっさげて、「マツコの知らない世界」に出演
するとよいのではないか。それがダメなら「ブラタモリ」か。（幹事長独白）



〈第二部〉 総会・大寮歌祭（13：10～15：30）

★総会は「都ぞ弥生」1番斎唱。→物故者への黙祷→開会挨拶（坂倉東日本会長）
 ・「2022年度事業報告・収支決算」「2023年度事業計画」「2023年度役員体制」の審議・決議（議長：坂倉東日本会長）→いずれも承認されました。

★大寮歌祭

校歌「永遠の幸」 発声者：松岡 繁幸君（S48入寮）

第一部 進行役：木村 成二君（S46入寮）

タンネの氷柱（S08） 発声者：岩田 昇 君（S53入寮）

茫洋の海（S35） 発声者：長谷川 和雄君（S42入寮）

噫妖雲は（S10） 発声者：尾見 仁一君（S38入寮）

大地はなごやかに 発声者：朝倉 仁樹君（S52入寮）

（T14開舎20記念寮歌）

水産放浪歌 発声者：小林 次郎君（S51入寮）

朔北に（S46） 発声者：若目田 篤君（S51入寮）

第二部	進行役：宇治 弘晃君（S56入寮）
蒼天へ（H14）	発声者：松岡 渉 君（H16入寮）
蒼空高く翔けらむと（S2）	発声者：橋本 浩典君（S54入寮）
湖に星の散るなり（S16）	発声者：飯島 康司君（S55入寮）
偉大なる北溟の自然（S39）	発声者：本田 彰 君（S43入寮）
一帯ゆるき（M40）	発声者：松尾 駿介君（H19入寮）
都ぞ弥生（M45）	発声者：木村 成二君（S46入寮）
別離の歌（S06閉寮記念寮歌）	発声者：坂倉 雅夫君（S44入寮）





4. むすび

今年の大寮歌祭の案内状には『2020年以来3年余りに亘って苦しめられた憎（にっく）きコロナウイルスが、最近はようやく鳴りをひそめたようです。そして、昨年に引き続き対面で大寮歌祭を開催出来る事は無上の喜びです。』と書きました。

今年は参加者を50名集めたいと考えて準備しましたが、実際は27名の参加でした。やや少なめではありましたが、会場をゆったりと使えたこと、歌と歌の合間に話しがしやすかつたこと等の良さがありました。

コロナ感染について、まだまだ気を抜ける状況ではありませんが、こうして延々2時間にわたって寮歌を大声で歌い、交流を深めることができたこと、そして無事終了できたこと。本当に嬉しく思う次第です。また来年もやりましょう。大寮歌祭。